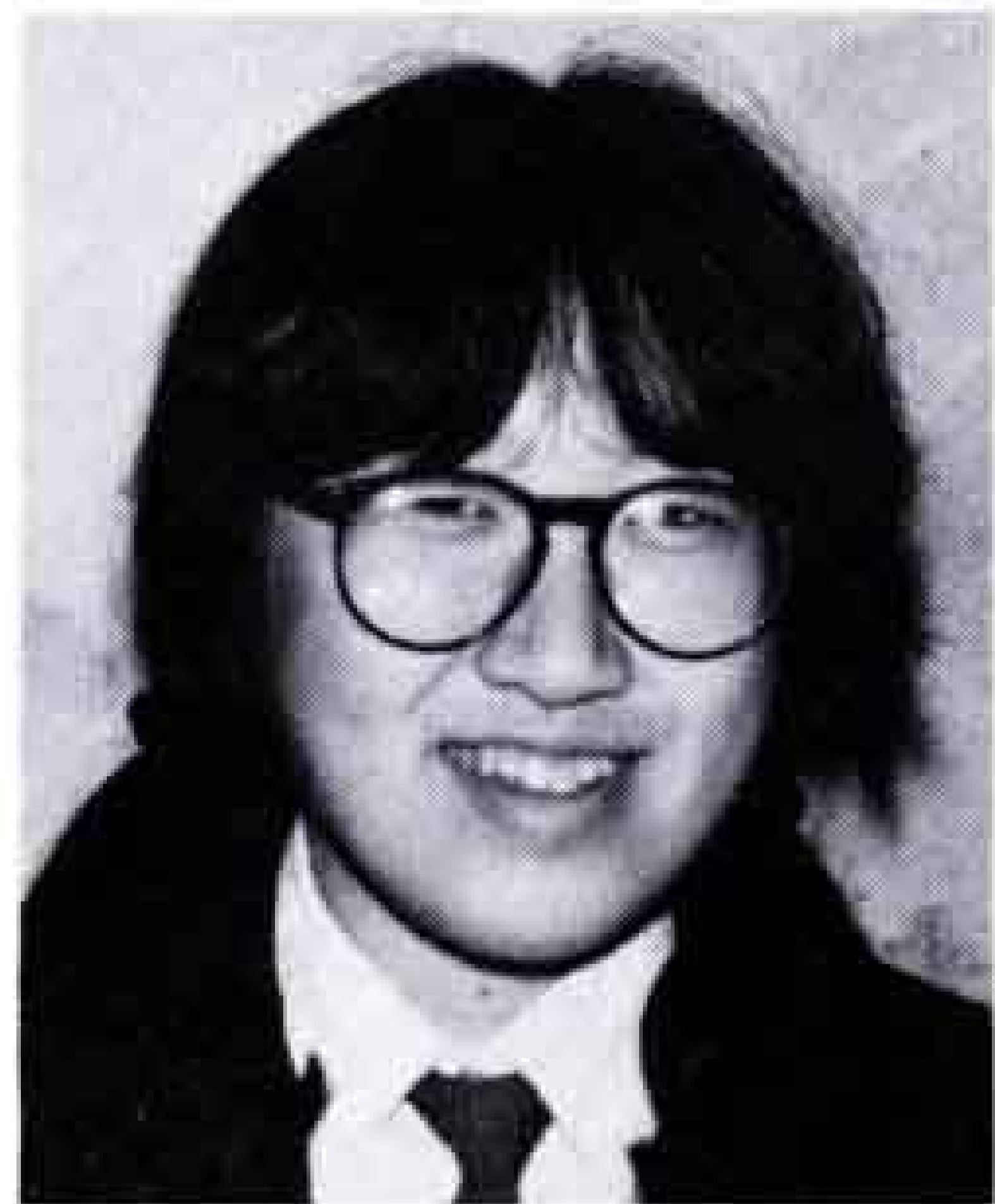


まちかど ネットワーク

市長への
手紙から

国際姉妹都市の 提携を

このコーナーは市長への手紙をお寄せくださった人の中から、意見・要望・提言などを紹介します。今回は、中里八幡町の野田文代さん（庵原高校二年）の「姉妹都市提携」についてです。（市長への手紙は、各公民館などに備え付けられています）



野田文代さん
（中里八幡町）

私は県立庵原高校英語科二年の高校生です。私は富士市から全県区の現在の高校に通っていますが、その理由は「英語ができるようになりたい」という意志からでした。私の高校には外人の先生がおり、国際交流もしています。

そこで、市長さん提案ですが、

近い将来実現します

市長の答え

お便りありがとうございました。私も野田さんのご意見どおり、富士市が国際都市として発展するためには、今後ますます諸外国との幅広い交流を進める必要があると思います。

富士市も新幹線新富士駅開業に伴い、国際都市を目指してアメリカやその他英語圏、フランス、中国など、どこでもかまいませんから姉妹都市の協定を結んではいかがでしょうか？富士市が国際化にむか

れをとらないためにもぜひお願いします。



△友好都市提携を前提に交流を深めている
嘉興市の市役所

富士市は現在、中国浙江省嘉興市と友好都市提携を前提とした交流を深めています。また、英語圏諸国やそのほかの都市との交流も進めたいと考えています。

すでに青少年・産業・文化・スポーツ団体等の交流は展開されています。

昨年は市民の国際交流のはずみをつける意味で、全方位的な国際都市交流協会も設立されました。姉妹都市、友好都市の提携については極めて近い将来実現されると思いますので、英語の勉強をより一層頑張ってください。

市民文芸「小説の部」で 市民文芸賞を受賞

あき やま みつ よ
秋山満代さん
宇東川町2(33歳)



「自分で書いたものが活字になるのは、やっぱりうれしいですね」と喜びを語る秋山さん。温和な表情にえんじ色のカーディガンがよく似合います。

文章を書き出してまだ三年目。今回受賞した作品「フォース」は大学卒業後しばらく勤めたテレビ

局でのことを書きました。

六歳の拓也君と四歳の雄太君を寝かしつけ、一段落した夜九時半ごろが、机に向かう時間。受賞作は一日五枚のペースで、十日間ぐらいで書き上げました。ふだんから気づいた事をメモし、読んだ本の感想や好きな文章を書きとめるなど、まめな努力が実を結んだといえます。

家業は八百屋さん。家事・育事と多忙な中で文章を書くことは、「時間に流されない人生のあかし」といいます。

家の中には壁新聞がいっぱい。親子で月一回つくる「秋山新聞」の編集長も務めています。

皆さんの地域の話題を中心にお送りしてきた「まちかどネットワーク」は、今回から装いを新たにお届けします。これまで同様、皆さんの身近で起こった出来事、御意見などを御連絡ください。連絡先：市内永田町一―100市広報広聴課 ☎五―1033 内線二八三三 締め切りは毎月十五日です。

